

第74回 仏教公開講座

生きるって ということ

真宗大谷派岐阜教区・岐阜別院

日 時	2010年8月20日(金) 午後6時30分～8時30分	
講 師	三島 多聞 氏(高山教区真蓮寺住職)	
講 題	『「帰」ということ』	
日 程	午後6時30分	真宗宗歌・正信偈(同朋奉讃式)
	6時45分	講 義
	8時15分	質問の時間
	8時30分	恩徳讃・閉会



講師紹介

講師紹介 三島 多聞 氏(高山教区真蓮寺住職)
1944(昭和19)年、岐阜県高山市生まれ。
京都外国語大学英米語学科卒業後、大谷大学大学院仏教学修士課程修了。その後、台湾・師範大学研究員国文科に3年留学。
現在、高山市 真蓮寺住職。2005年9月より大谷派宗門の最高議決機関である宗議会議員を勤める。中村久子女史顕彰会代表。高山市東地区民生委員会会長。著書に、『花びらの一片』(中村久子の生涯)。

先生からのメッセージ

人間の究極的安心は、「帰るところを持っている」ということです。旅行が旅行という意味を持つのは、家に帰ることができるからだ。もし、帰る家がないと、旅行にはならず、“さすらい” “流転”となる。人生が人生という意味を持つのは、「帰るところ」があってこそ。では、その「帰るところ」とは何か?どこか?

いつでも・どこからでも聞ける “テレホン法話” お電話ください。TEL058-265-0033